

# 田辺市史 第一巻 通史編 I (地理・原始・古代中世)

## 目 次

発刊のことば  
監修のことば

### 凡 例

### 序 章

### 第一章 地理概観

第一節 田辺市の位置	一
1 地表上の位置	一
経線と緯線／経度・緯度と面積	一
2 日本の中の田辺市	一

### 経緯度と標準時／位置と表記

### 第二節 地形の特徴

1 近畿地方・和歌山県の地形と田辺市	一〇
日本列島の地質構造と中央構造線／近畿地方の地形／和歌山県の地形概観／田辺市の地形概観／地形分類の方法	一〇
2 海岸と山地	一〇
山地・丘陵／海岸段丘／海岸地形／海面変化	一〇
3 河川と平野(河岸段丘)	一六
田辺市の河川／河岸段丘	一六
4 沖積低地(下位デルタ)の微地形	二〇
自然堤防／後背低地／旧河道／条里型地割／古地理変遷	二〇

### 第三節 気候の特徴

1 四季の特徴と気候型	二四
気候の区分／気候上の特徴	二四
2 和歌山県の気候区と田辺	二四
田辺の特徴／気温の区分／霜の被害／降水量の比較／風の特徴	二四

3	田辺市域の微気候
4	災害と人間／近代以前の風水害／近代以降の風水害／地震と津波
4	気象灾害
1	旧石器時代とは
1	田辺から古化石人骨が出るか／旧石器時代の自然／新しい息吹
2	縄文時代とは
2	縄文文化の勃興／縄文時代とは／田辺で最も古い高山寺遺跡／縄文最大の火山爆発／田辺平野のなりたち
3	弥生時代とは
3	田辺にいつ頃コメがきたか／自然環境と砂堤利用／銅鐸と海辺のくらし
4	古墳時代とは
4	古墳文化の区分／古墳時代の環境／田辺湾周辺の古墳／須恵器の生産と祭祀
七	第二章 田辺地方のあけぼの
七	第一節 原始文化の総論
七	第一節 旧石器時代の社会と文化
七	1 旧石器文化
七	1 旧石器の発見と自然／どのような道具を使つたか／旧石器時代遺跡の分布
八	第二節 縄文時代の田辺
八	1 縄文時代の幕開け
八	1 土器の発明と年代／田辺周辺の最も古い遺物
九	2 縄文人の生活と道具
九	2 食糧の獲得と調理／石器の種類と用途／モノの交流／縄文の家とムラ
一〇	3 縄文人の装身具
一〇	3 衣服と飾り／装身具の意味
一一	4 いのりと風習
一一	4 いのりの道具／縄文人の墓と抜歯習慣
一二	5 縄文から弥生へ
一二	5 岩陰を利用した生活／弥生文化への胎動
二三	第四節 弥生時代の田辺
二三	1 弥生時代の社会と文化

稻作の開始／弥生時代前期の遺跡／弥生時代中期の遺跡／弥生時代後期の遺跡／ 海岸の遺跡／弥生時代の製塩／田辺の製塩遺跡／海岸の墓地／銅鐸／ 和歌山県内の銅鐸／田辺市内の銅鐸	一四四
2 弥生時代から古墳時代へ 墓について	一四五
第五節 古墳時代の田辺	一四六
1 岩陰の形成と利用 岩陰遺跡について／岩陰の利用と製塩／製塩の展開／鹿角製品について	一四七
2 古墳文化とその時代 古墳文化の広がり／古墳のかたちと埋葬施設／古墳の副葬品／須恵器の副葬／ 須恵器と土師器／住居と集落	一四八
第三章 神話から歴史へ	一四九
第一節 日本神話と熊野国	一五〇
1 神々と熊野 神話の舞台／国生み神話と熊野の花の窟／熊野の神々の登場／熊野諸手船／ 神武東征神話と熊野／神話と歴史の間	一五二
第二節 熊野国と熊野国造	一五三
熊野国造／熊野直と熊野連／古代熊野の氏族たち／紀伊国と熊野国	一五四
第二節 律令国家と牟婁郡	一五五
1 大化革新と有間皇子事件 大化革新／有間皇子と牟婁郡／齊明天皇の牟婁郡行幸／有間皇子、謀反／ 虜囚の旅路／有間皇子事件と律令制度	一五六
2 律令制度と牟婁郡 紀伊国の七郡／牟婁郡の設置／牟婁郡の名称／牟婁郡の里／牟婁津と牟婁郡家／ 租庸調の税制	一五八
3 律令農民の暮らし 牟婁郡とみやこの道程／みやこで暮らした牟婁の人／牟婁采女／ 古代牟婁郡の特産物	一五九
4 白鳳・天平期の文化 牟婁郡と行幸／牟婁郡行幸と万葉歌／紀南の大寺・三栖寺／三栖寺と古代豪族／ 永興禪師の牟婁郡教化／永興禪師、牟婁郡に来る	一六〇
第三節 王朝国家と紀南地域	一六一
1 古代国家の変貌	一六二

律令制度の破綻／牟婁郡の豪民／種松長者 の暮らしぶり

2

熊野神の変貌

三四

三四

宇多法皇の参詣／花山法皇の参詔／いほぬしの見た熊野／藤原為房の参詔／

熊野参詔における本宮と新宮／もう一つの熊野参詔／法華經修行と熊野

熊野別当のおこり

3

熊野参詔のはじまり

三四

『法華經記』にみえる熊野参詔

4

南部の道祖神／王子社の出現／牟婁郡の悪女／清姫の原像

五六

『法華驗記』にみえる熊野参詔

4

南部の道祖神／王子社の出現／牟婁郡の悪女／清姫の原像

五六

## 第四章 京都と熊野

五六

## 第一節 熊野三山と熊野参詔

五六

1 白河上皇の熊野参詔

五六

院政の開始／寛治四年の参詔／永久四年以降の参詔

五六

2 熊野三山の形成と熊野別当家

五六

三所権現の成立／熊野別当家の成立／熊野の神々と本地仏

五六

3 熊野御幸の盛行

五六

鳥羽上皇の参詔／女院の参詔／熊野御幸の公事負担  
貴族の熊野参詔

三七

藤原宗忠の参詔／藤原経房の参詔／貴族の参詔の特色

三六

熊野詣と熊野信仰

三六

熊野参詔道／田辺付近の参詔道／九十九王子／参詔の作法／先達と御師／  
熊野信仰の特質

## 第二節 田辺地方の莊園と熊野三山領

三五

1 摂関期に成立した莊園

三五

攝関期の莊園／出立莊／秋津莊・三栖莊など

三二

2 院政期における莊園の発展

三二

院政期の莊園／出立莊から芳養莊へ／秋津莊と三栖莊／三栖寺領生馬堅田莊

三一

3 熊野三山領莊園

三一

白河上皇の田畠寄進／熊野三山の経済活動／紀伊國の熊野三山領／  
諸国の熊野三山領

## 第三節 院政と熊野三山

三九

1 白河・鳥羽院政下の熊野別当家

三九

白河上皇と別当長快／熊野三山検校の設置／

三九

熊野三山をめぐる動き／熊野権別当の設置／長範と長兼の熊野三山経営／湛快と行範の熊野三山経営	三五
保元・平治の争乱と熊野三山	四〇一
2 平氏政権と熊野三山	四〇二
3 平氏政権と熊野三山	四〇三
保元の乱と熊野／平治の乱と湛快	四〇四
伊勢平氏と熊野三山／湛増の登場／範智・湛増の熊野三山経営／權別当湛増と南部莊／平氏政権と紀伊／後白河法皇の熊野参詣	四〇五
<b>第五章 公武のあらそいと熊野</b>	四九
<b>第一節 源平内乱と熊野三山</b>	四九
1 源平内乱期の熊野別当家	四一〇
新宮十郎行家／熊野合戦と湛増の挙兵／熊野水軍の軍事活動／行命の抵抗と逃亡／維盛入水／行命と湛増／熊野水軍の瀬戸内海進出／弁慶と田辺／湛増の湯浅城攻め	四一〇
2 鎌倉幕府と熊野三山	四一三
頼朝と湛増／鎌倉幕府と新宮別当家／北条政子の熊野参詣	四一三
3 田辺・新宮両別当家の対立と抗争	四一〇
<b>第二節 承久の乱と熊野三山の動き</b>	四七〇
1 後鳥羽上皇と熊野参詣	四七一
後鳥羽上皇の熊野御幸／三山検校長嚴と熊野／歌会と熊野懐紙／藤原頼資の熊野参詣	四七一
2 後鳥羽上皇と熊野別当家	四七七
別当範命と別当湛政／小松法印快美／新宮別当家の人々／熊野水軍志摩乱入事件／湯浅宗光配流事件	四七七
3 承久の乱と熊野三山の動き	四八三
後鳥羽上皇の挙兵／上皇方の熊野関係者／上皇方の敗北／幕府方の熊野関係者	四八三
<b>第三節 熊野別当家の衰退と新興武士団の自立</b>	四八八
1 承久の乱後の熊野	四八八
田辺・新宮両家の再建／岩田家と富田川流域／吉田経俊の熊野参詣／田辺別当家の再分裂／航路をめぐる幕府との争い／田辺總領湛尊法印／正湛とそれ以後の別当／熊野別当家の衰退／熊野水軍の一斉蜂起	四八八
2 地方武士の参詣	四九一
藤原実重の参詣／東国武士の参詣／願文と檀那売券	四九一

第六章 動乱の中世後期	五六
第一節 南北朝期の内乱	五四
1 『太平記』に描かれた熊野	五四
2 『太平記』と田辺・熊野地方／護良親王の熊野逃避行／足利尊氏方の熊野武士／脇屋義助の田辺出航／熊野武士の離反融合	五四
2 紀南の南北朝	五三
建武の新政と紀南／南北朝の分立と紀南／熊野水軍と八庄司／幕府の勢力伸張／南朝の京都奪回戦／畠山義深の紀伊平定／山名氏の紀伊進攻	五三
第二節 室町期、守護畠山の支配と民衆文化	五二
1 紀伊守護と紀南国人	五二
大内義弘と紀南／紀伊守護畠山氏／守護畠山氏の支配原理／	五二
2 畠山氏の内訌と紀南	五二
畠山持国の跡目問題／弥三郎派の蜂起／長禄・寛正の内訌と紀南／応仁の乱と後南朝／応仁の乱の終結と紀南の戦局／在地諸勢力の状況	五二
3 郷村の生活と中世の莊園	六三
郷村の生活と文献史料／芳養荘／秋津荘／三栖荘／田辺荘など／熊野路と塙見坂の関所	六三
4 蟻の熊野詣	六一
「蟻の熊野参り」という言葉／檀那壱券にみる庶民の参詣／熊野比丘尼と絵解き／三十三所観音巡礼	六一
5 伝承と文芸	六一
『国阿上人絵伝』／『義經記』から『弁慶物語』へ／北野殿の『熊野詣日記』往路／『熊野詣日記』帰路と田辺の景観／連歌と湯河政春／『長享二年四月五日北野会所花の本開百韻』／宗祇と湯河政春	六一
第三節 戦国期、群雄割拠から霸者統一へ	五三
1 紀南の戦国時代	五三
明応の政変／畠山尚順の河内奪回戦／湯河退治について／両畠山氏和睦／	五三
2 鎌倉時代の宗教と文芸	五三
西行の熊野詣／『西行物語絵巻』／『一遍上人絵伝』／行遍法橋の『新古今和歌集』入集歌／歌人行遍法橋の問題点／早歌の熊野像／歌枕と歌枕集／田辺周辺の歌枕	五三
3 鎌倉期の莊園支配	五六
湯浅氏の芳養荘進出／芳養の八幡神社／鎌倉期の熊野三山領莊園	五六

## 序

## 章

2

織豊時代の田辺

細川高国政権と畠山尚順／畠山尚順の紀伊追放／  
堺公方府の盛衰と畠山種長の立場／畠山種長の紀伊在国／遊佐長教の全盛／  
畠山高政の河内争奪戦／紀南の国人の盛衰／後北条氏と紀伊水軍／

畠山氏の衰亡／織田信長と紀南／反秀吉陣営への加担／秀吉の紀州攻め／  
泊城主杉若無心／天正檢地と熊野の一揆／統一権力と紀南国人／  
泊城から上野山城へ／秀長の家臣から秀吉の直臣へ／関ヶ原の戦いと紀南